

—フォレスト通信—

Forest 通信

2018 冬号 vol.38

オーナーの皆様へ、フォレストコーポレーションの“今”をお伝えします。

■発行所：
 (株)フォレストコーポレーション
 「フォレスト通信」編集部
 〒399-4431
 長野県伊那市西春近3005
 TEL: 0265-72-2088
 FAX: 0265-73-6269

■ホームページ：
 フォレストコーポレーション
 www.forestcorp.jp
 賃貸経営「フォレストウイング」
 wing.forestcorp.jp
 注文住宅「工房信州の家」
 www.kobo-shinshu.com

二〇一八年 私たちの取組み
資産運用セミナー 延べ100回超

私たちは信州に根差した土地・不動産の専門家として、地域の皆様の資産運用に役立つ情報をお届けするセミナーを定期開催して参りました。毎回多くの反響に支えられ、おかげさまで延べ一〇〇回を超える好評のセミナーへと成長しました。

この夏には、長野・松本で一〇〇名以上のご参加をいただきました。法律・税金・不動産・賃貸の四つの分野の専門家が一堂に会し、不動産相続や古貨家対策について幅広い側面から学んでいただきました。ご参加の皆様からは「実例や法律用語が分かりやすく実践に活かそう」「一括借り上げも内実をさまざまで、実態をはっきり示してくれ良かった」等の感想をいただきました。情報が氾濫する現代だからこそ、正しい知識を顔を合わせて伝えていけるセミナーをこれからも開催していきます。



グッドデザイン6年連続受賞



毎年恒例となりましたグッドデザイン賞受賞報告も、今年で六年目となりました。本年の受賞タイトルは「自分の山の木で家づくり」。地域材の流通体制を一から再構築することで実現し、この十年で延べ一三〇組のご家族が持ち山の木で家づくりをされました。地域の資産を活かす取り組みをこれからも続けてまいります。

家そだてデー開催

工房信州の家オーナー様を招いた「家そだてデー」。家に手をかけることを楽しんでいただけよう企画したイベントです。職人さんから外部木部の塗装方法を学んだり、普段使いの小物をワークショップで作ったりと、ワイワイ賑やかなイベントでした。今回は竣工年度を絞ってのご招待でしたが、来年からはより多くのオーナー様にご参加いただけるよう計画中です。どうぞご期待ください！



社員大工 独り立ち



私たちは職人を志す若者の安定雇用により伝統技術の継承を目指し、四期にわたり大工職を採用してきました。今年、一期生メンバーがいよいよ独り立ちし、親方として現場を率いています。木造戸建て賃貸住宅・フォレストウイングヴィラや、注文住宅・工房信州の家まで、さまざまな現場で経験を積み、皆ますます意欲的に頑張っています。施工技術の内製化によって安定品質・安定生産の体制を確立し、皆様にさらなる安心をお届けできるよう頑張っております。

Staff Voice

大工社員一期生 森重水稀

段取りや方法を納得できるまで考え抜いた、大工社員中心の現場。入社当初は釘一本抜けなかった自分が、できることや任されるのが日々増えていくのは楽しく、自信につながっています。

For next year

来たる二〇一九年も更なる飛躍を目指し、新たな挑戦をしていきます！

●新本社 建設中！

伊那市ますみヶ丘に新本社を建設中です。現在、基礎工事が順調に進んでいます。特徴は三つの土間サロン！伊那谷の風景を一望するロケーションを活かした、居心地の良い空間になりそうです。小黒側スマートICから車で一分、竣工の際ぜひお立ち寄りください。



●軽井沢モデルルーム着工

軽井沢では新しい型の展示場を開設します！国道18号沿い、コブシの木に囲まれた閑静な場所。県内外からたくさんの方が訪れる軽井沢で、信州ブランドを強く発信していきたいと思えます。

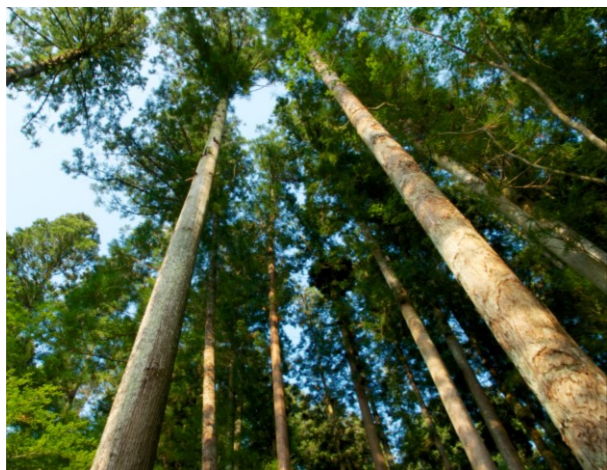
●テレビCMが始まります

新春より、民放四局で工房信州の家のテレビCMを放映することになりました。内容をご覧になってからの楽しみ！どうぞご期待ください。

フォレストの風景

未来に向かって、強くたくましい森を育てよう

「大地にしっかりと根を張った一本の本の木。その木が集まり森。フォレストになるように、社員一人ひとりが力を合わせて大きな力を生み出す企業」。これが、フォレストコーポレーションの社名の由来のひとつです。



今年、私たちが力を入れた取り組みのひとつが「未来の森」プロジェクト。ここで言う森とは、木ではなく人の集まり、つまり当社のスタッフを指しています。フォレストコーポレーションらしい接遇やマナー、仕事の流儀を身

に付けるための教育体制を整え、人材育成を通して、強くしなやかな企業づくりに繋げようとするものです。

運営メンバーは、中堅社員11名。営業・設計・施工・総務と部門の異なるメンバーが集い、まず話し合ったことは「フォレストらしい社員像とは？」。たどりに着いた答えは「お客様と共創できる人材」でした。

お客様と一緒によりよいものづくりをするためには、お客様の心情に寄り添い期待をつかむことが欠かせません。マナー研修といっても杓子定規な型にはめるのではなく、「関係の質を高めるためのコミュニケーションとは？」を常に考える研修内容でした。

さらに、複数部門のチームで問題解決にあたる「グループインバスケッ卜研修」も特徴的でした。部門や年次にとられて行動力を失うのではなく、チーム皆が気概をもって課題に飛び込み、困難を突破する姿勢を実践的に身に付けることが目的です。スタッフの視野が広がり、共創するチーム力もさらに高まったことでしょう。

Staff Voice



「未来の森」プロジェクト委員長
 池上洋美（設計課マネージャー）

受講したスタッフが元気に挨拶するようになると、そのチームメンバーまで明るくなる…という波及効果が如実に現れ、人は関わり合いの中で互いに成長するのだと再確認。大きな森を育てるための活動は、これからも続きます！



土間のある暮らしを、賃貸住宅でも

土間付き戸建て賃貸住宅
発売から1年

今や注文住宅・工房信州の家の代名詞となった「土間サロン」。土間のある暮らしを提案し続け、累計1000棟のうち約半数のお宅に土間を設けています。リビングの一部でもあり、庭

の一角でもある中間領域によって外とのつながりができ、自然や風土に親しむ信州ならではの暮らし方を生み続ける土間サロン。こうした豊かなライフスタイルをさらに多くの方に提供する



最新プランは、玄関から続く通り土間！リビング前の三枚引き戸は壁側に引き込め、開放的に使えます。

ことを目指したのが、土間付き戸建て賃貸住宅「フォレストウィングヴィラ RELAX」。通称「土間ヴィラ」です。発売から一年、すでに25棟もの土間ヴィラが県内各地に完成しています。オーナー様の中には、二回目のヴィラ建設というリピーターの方もおり、「他にはない、信州らしい建物だ」という期待とともにお建ていただきました。工事に携わった職人さんが「愛犬と暮らすのにぴったり」と惚れ込んでそのまま入居してしまっただけというエピソードも！

賃貸住宅といえば、個人的な間取りは嫌厭されるのではと思われる方もい

らっしゃいますが、土間があることで暮らしの幅は大きく広がります。私たちは信州らしい暮らしを追求し続けてきた地元企業として、土間のある家を積極的に提案し、信州の住まいのスタンダードに育てたいと考えています。さらに、戸建て賃貸住宅には県外出身の転勤族の方も多く入居されます。信州は寒い・雪が多いとネガティブに捉えがちな信州での新生活を、外とつながる空間によって一段豊かなものへと導くこともできるはず。土間の家で信州ライフを楽しみ、信州が好きになり、終の棲家はこんな暮らしがしたいと意識変化を導くこともできるのでは。土間ヴィラは、信州へのライフシフトを促し地方創生の一助となることを夢見る新商品でもあるのです。



Staff Voice

土間ヴィラ 設計士
野崎貴教 (企画設計マネージャー)

押し付けのライフスタイルではなく「ここで何かできそう」と住まい手の想像力をかき立てる住空間を目指しました。性能ばかりを求める賃貸住宅づくりから一歩進み、暮らしの豊かさを意図した設計を心掛けています。

長野支店開設から10年目を迎えました

伊那市で創業したフォレストコーポレーションが、長野市に進出したのは二〇〇八年のこと。早いもので、十年の節目を迎えます。ご愛顧いただいた地域の皆さまに、心から感謝申し上げます。

私たちが長野市進出を決めたきっかけはリーマンショックでした。百年に一度の世界的な経済危機。県内でも銀行の貸し渋りなど厳しい情勢でしたが、ピンチをチャンスと捉えて新しい市場に挑む挑戦でした。これを機に一層磨き上げたのは、賃貸住宅の商品力でした。特に長野市は大手企業の転勤族や勤務医などハイレベルな住まいを求める方が多いため、高品質でデザイン性の高いマンションを商品化。オーナー様と共に創り上げるエントランスデザインは、街並みの象徴として地域の皆様にも親しまれています。さらに戸建賃貸住宅「フォレストウィングヴィラ」をリリース。小額投資で土地活用を始められる新商品を携えて、小さな土地でもキャッシュを生み出す柔軟なご提案ができるようになりました。

住宅事業では、翌〇九年に長野中央展示場をオープン。住宅公園から大手メーカーが次々と撤退する中、信州に特化した家づくりの真価を問うチャレンジでした。まだ知名度のない私たちが県内唯一の市場にどう受け止められるか、不安な船出でした。しかし、商品力とビジョンをきちんと評価し、応援してくださる方がたくさんいる実感が持てたこの十年でした。これからも信州の住文化を創造する企業であり続けるため、着実に歩んでまいります。

Staff Voice

長野支店長 野澤聖 ※写真左下
(施工部門セーフティマネージャー)

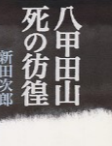


長野支店開設メンバーと共に

すべての現場が会社の看板になる、という心構えで、一棟一棟の施工に丁寧に向き合ってきました。ゼロからスタートした土地で10年が経ち、街を走れば手掛けた建物をたくさん見つけられることが不思議な感覚で、とても感慨深い思いです。



学ぶ社風を創り、人間力を高めることを目指す「課題本」の取り組みも、今年で十年目。一冊の本の感想文を社員全員で読み合うことで、同じ本を通した考え方の多様性を発見し、社員間の相互理解も深まります。社員の投票で選ばれた受賞作品の一部をご紹介します。



PickUp
感想文

課題本：新田次郎著
「八甲田山 死の彷徨」
感想文：賃貸事業部 片岡美乃

最近、チームリーダーの柄沢さんに教えてもらった言葉があります。「ハブ」という言葉です。「中核・車輪の中心」という意味で「自分が軸となり、周りの人と一緒にお客様の悩みにお答えできる営業マンに、ハブになる」とアドバイスを頂きました。この本を読んで、すぐに柄沢さんの言葉が頭に浮かびました。徳島大尉は自分より地域に詳しい案内人を立てる選択をし、山田少佐は軍人だからという理由で案内人を立てない選択をしましたが、ここが大きな差であったと思います。

入社二年目になった今、お客様の前で経済効果をお示しできるような税金計算を特訓したり、宅建の資格を取る為に日建学院に申込んだりと少しずつ動き始めています。



片岡美乃 /
2017年入社、出身は静岡県袋井市。幼い頃から安曇野の母の実家を訪れ、山並みやサイクリングに親しんだ。憧れの信州に暮らすため、就職を機にIターン。



写真上/長野市第一棟目のフォレストウィングマンション(2010)
写真下/完成間近の長野中央展示場(2009)

- 2008 ● 12月 マンションの一室を借り、長野市進出準備スタート ● 「フォレストウィングヴィラ」発売
- 2009 ● 2月 長野市西尾張部に「長野支店」開設
6月 SBC長野中央ハウジングパーク「工房信州の家」出展
9月 長野市第一棟目のフォレストウィングヴィラ竣工
- 2010 ● 1月 長野市第一棟目のフォレストウィングマンション竣工 ● 「フォレストウィングマンションクラシック」シリーズ発売
- 2011 ● 11月 長野市若宮に「長野支店」移転オープン
- 2012 ● 長野市で資産運用セミナー開始
● フォレストウィングオーナー会開始
4月 SBC上田ハウジングパーク「工房信州の家」出展
- 2013 ● 「フォレストウィングマンションアーバン」シリーズ発売
- 2014 ● 8月 SBC長野南ハウジングパーク「工房信州の家」出展
9月 長野県下初の「賃貸ショールーム」オープン
- 2015 ●
- 2016 ● 11月 「工房信州の家」長野若里モデルハウスオープン
snowpeakアーバンアウトドア「Any+Forest」オープン
- 2017 ● 土間付き戸建て賃貸「フォレストウィングヴィラRELAX」発売
- 2018 ● 長野支店開設 10年目